

安足地区の学力向上に向けた今後の取組

～調査問題と調査結果の効果的な活用に向けて～ Vol. 2

前号では、『とちぎっ子学習状況調査』の結果から小学校5年国語の問題を取り上げ、「書くこと」を中心とした具体策を紹介しました。

今回は、『全国学力・学習状況調査』の国語から課題の見られる、「書くこと」の他、複数領域の力が**必要である問題に着目し**、授業改善の具体策を紹介いたします。

【1】栃木県の調査結果から【全国学力・学習状況調査 国語】

		小6	中3
観点	全体	67.0	70.0
	知識・技能	68.5	70.6
	思考・判断・表現	66.3	69.6
解答形式	選択式	73.7	72.8
	短答式	61.3	67.3
	記述式	52.9	68.3

		小6	中3
領域	言葉の特徴や使い方に関する事項	70.7	69.3
	情報の扱い方に関する事項	63.1	63.8
	我が国の言語文化に関する事項		76.1
	話すこと・聞くこと	73.4	82.1
	書くこと	27.3	62.4
	読むこと	72.2	63.9

小6・中3の国語の問題の中で最も低い正答率は、この大問1-2です。この問題の身に付けたい力とは？

問題番号	問題の概要	正答率
1-2	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	27.3

小学校6年 大問1-2において身に付けたい力とは

主な領域は「書くこと」ですが、様々な情報の中から原因と結果の関係を見だし、結び付けて捉える「情報の扱い方に関する事項」や、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける「読むこと」の複数領域の力が求められます。

小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編 第5学年及び第6学年の内容より

主な領域

[思考力,判断力,表現力等]

「書くこと」(エ)

引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。

関連する領域

[知識及び技能]

★「情報の扱い方に関する事項」(ア) 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。



★「情報の扱い方に関する事項」は、急速に情報化が進展する社会において求められている力として、平成29年度告示の学習指導要領から新設された指導事項です。

今回取り上げるのは小学校国語の問題ですが、中学校国語や、国語以外の教科等でも必要とされている力です。

[思考力,判断力,表現力等]

「読むこと」(ウ)

目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること。

【2】調査問題 大問1二 (領域: **書くこと** 観点: 思考・判断・表現 問題形式: 記述式)

○学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード④」のそれぞれからわかることを書くこと。
 ○問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。
 ○六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の学校の米作りの問題点とその解決方法について書くこととしています。あなたが川村さんなら、**□**に入る内容をどのように書き表しますか。あとの条件に合わせて書き表しましょう。

【川村さんの文章】
 学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法
 今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。
 5月下旬に学校の田んぼにえさを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、**ア**いかに雑草が生えてきて、とてもこままりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと学校の田んぼと比べてみました。**ウ**きかんは7月1日から15日までです。
 右のグラフは、その結果です。
 農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量
 (単位) 10㎡あたりの雑草を取って同じ大きさのパケツに入れ、その個数を雑草の量とする。
条件① a
 このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

【川村さんの考え】
 雑草が増える問題が起きたら、雑草の量に対して雑草取りが足りていないと考えられる。
 雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。
条件① b
 7月20日
 【農家の石山さんのお話】
 ・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。
条件②
 7月21日
 【学校でできる解決方法】
 ・雑草取りの回数を増やす。
 ・雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの文章】
 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【川村さんの文章】
 6月24日
 ・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
 ・このまま雑草が増えたら米のしょうかくにえいきようするのではないかと心配だ。
カード②
 6月30日
 ・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
 ・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
 ・調査きかん 7月1日～15日
カード③
 7月19日
 ・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが足りていないと考えられる。
 ・雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。
条件① a
 7月20日
 【農家の石山さんのお話】
 ・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
 ・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
 ・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。
条件②
 7月21日
 【学校でできる解決方法】
 ・雑草取りの回数を増やす。
 ・雑草取りの人数を増やす。

【正答例】 グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草は増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)

【3】結果分析 問題別(解答類型) 調査結果より

解答類型	条件①a	条件①b	条件②	条件③	解答の割合 (%)	備考	
	グラフ	カード④	カード⑤	文字数			
1	○	○	○	○	27.3	○正答	
2	○	○	○	×	0	×誤答	
3	○	○	×	△	3.3		
4	○	×	○	△	19.1		
5	×	○	○	△	18.7		
6	○	×	×	△	8.3		
7	×	○	×	△	2.4		
8	×	×	○	△	7.1		
99	×	×	×	×	7.4		
0	無解答	無解答	無解答	無解答	6.4		無解答

●約3割の児童が正答
 *全国学力・学習状況調査では、すべての条件(①a~③)を満たしていないと正答になりません。

●約4割の児童は、両方の条件(①a、①b)を満たすことができなかったために誤答

「あと1つ」の条件を満たすためには?

解答類型4、5の子もまたには、どのような支援が必要でしょうか。

【4】学力向上に向けた指導の具体策 ①~③

解答類型4、5から予想される課題
 ・グラフから必要な情報を読み取ることができなかったのではないか。・・・具体策①へ
 ・グラフとカードの2つの資料は読み取れたが、1つの文にまとめることができなかったのではないか。・・・具体策②へ

具体策①：グラフから必要な情報を読み取る活動

◎基本的な見方を確認し、グラフの特徴を捉える活動を取り入れる。

基本的な見方

- 標題(資料の内容)
- 出典、作成年度
- 縦軸、横軸
- 1目盛りあたりの単位
- 脚注
- その他(複数のグラフがある場合の関係など)

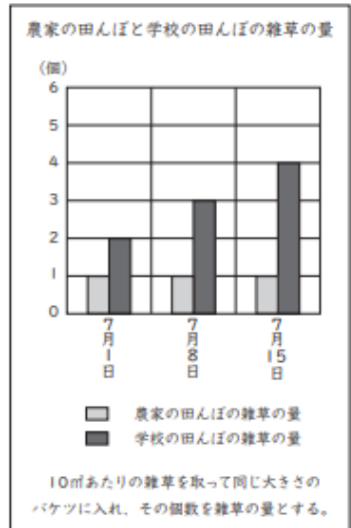
グラフの特徴

- 数量の大・小や増・減、最大値・最小値など
- 全体的な傾向

◎グラフから読み取ったことを言語化する活動を取り入れる。

- ・箇条書きで書き出す。
- ・児童、生徒間で伝え合う。

★算数・数学、社会、理科、総合的な学習の時間などの教科等においてグラフを読み取る際にも、国語科との関連を意識して指導する。



具体策②：複数の情報を1つの文章にまとめる活動

◎複数の情報を1つの文にするなど、まとめて書き表す活動を取り入れる。

- ・それぞれの資料から読み取ったことを、1つの文にまとめる。

・学校の田んぼは、雑草が増え続けている。(グラフから)

・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。(カード④から)

・問題点

学校の田んぼは、雑草が増え続けているため、雑草に栄養をとられて米のしょうかくが減ってしまうという問題点があります。

◎文章を作るための基礎的な力を高める活動を取り入れる。

- ・語彙を増やす。(意味の分からない言葉を辞書で調べる。別の言葉で言い換える。)
- ・文と文が正しくつながるように、接続詞を適切に選んで使用する。

そして しかし なぜなら など

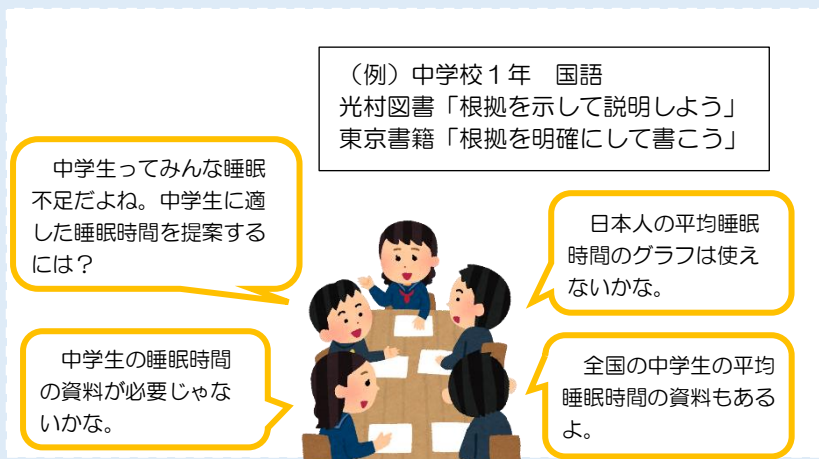
ポイント③は裏面へ

- 情報と情報の関係を捉えることができなかったのではないか。・・・具体策③へ

具体策③：情報を集めて整理する活動

◎児童生徒が情報を収集し、整理する必然性のある活動を設定する。

- 伝えたい相手や目的を明確にして、情報を収集する。
- 複数の資料の中から、必要な情報を選択する。



必要となる情報を多面的に捉えて集め、目的に合わせて取捨選択する活動を取り入れることが大切です。

国語以外に、理科や社会、総合的な学習の時間の中でも、学習活動を設定することができます。

◎学校図書館などを利用し、複数の本や新聞を活用して調べたり考えたりする活動を取り入れる。

- 同じ作者の書いた別の本の平行読書を行う。
- 同じテーマについての異なる書き手による本や新聞を読み比べる活動を行う。

各種参考資料の活用はこちらから

○栃木県教育委員会 「学力向上アーカイブ」
(パワーアップ問題、学力向上通信 など)

○国立教育政策研究所
(解説資料、授業アイデア例 など)



参考資料の
二次元コードは
こちらまる！



学力向上アーカイブ



国立教育政策研究所

*今回扱った問題だけでなく、すべての大問について、授業アイデア例が掲載されています。

*国語以外に、算数・数学※ 理科※ 中学校英語 ※ は実施年度のみ) の授業アイデア例もございます。

栃木県教育委員会事務局 安足教育事務所
〒327-8503 栃木県佐野市堀米町 607
TEL 0283-23-1471
URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp/m57>
〈発行：令和5（2023）年12月〉

*本資料は、安足教育事務所
Web サイトからご覧いただく
ことができます。



安足教育事務所